

持続可能な食生活について考えよう

本時の目標

- ・資料を活用して、エネルギーの観点から日常の食生活に関する課題を理解する。
- ・持続可能な食生活に向けて、エネルギー資源を有効に活用する工夫を考える。

本時の評価規準

| | |
|----------|--|
| 知識・技能 | 資料を活用して、エネルギーの観点から日常の食生活に関する課題を理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 持続可能な食生活に向けて、エネルギー資源を有効に活用する工夫を考えている。 |

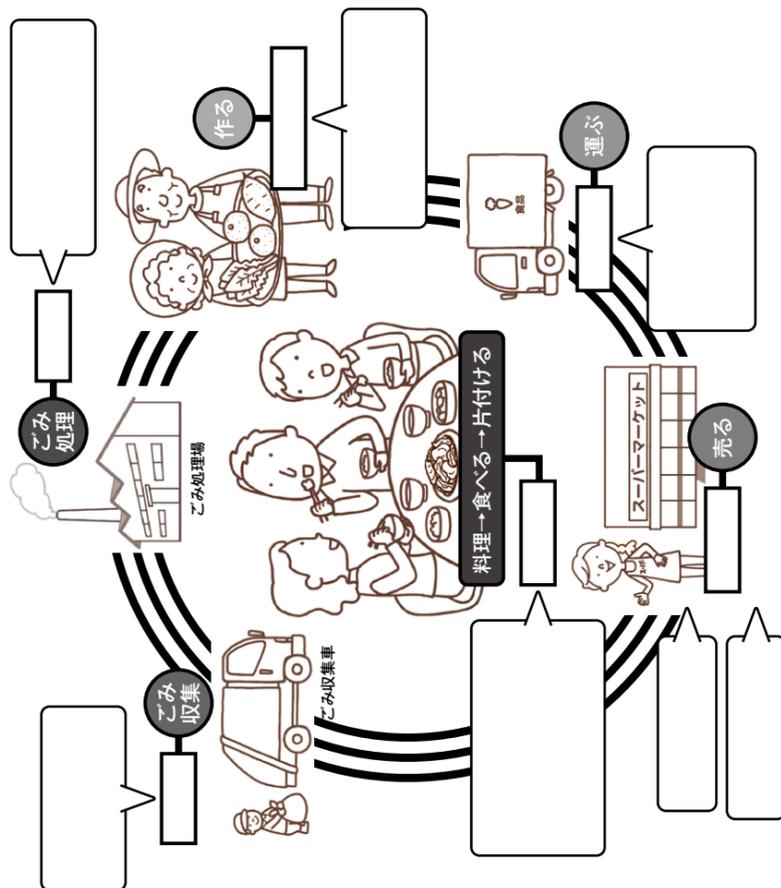
| | 具体的な学習活動・内容 | 使用する教材・資料／指導上の留意点 |
|-----|---|--|
| 導入 | ①暮らしの中にあるエネルギーに目を向ける。 「私たちは暮らしの中で、どのようなエネルギーを使って生活しているだろう？」 ・電気、ガス、石油など ●学習課題 「持続可能な食生活について考えよう」 | ①多様なエネルギーを使って生活していることに気付かせる。 |
| 展開 | ②日常の食生活に関連するエネルギーに気付く。 「私たちの食生活には、どのようなエネルギーがかかっているだろう？ 図中の□に書き入れよう」 ・食材にかかるエネルギー（栽培、輸送、販売、容器包装） ・調理にかかるエネルギー（加熱） ・廃棄にかかるエネルギー（ごみの収集、焼却） ③エネルギーの観点から日常の食生活に関する課題を理解する。 「資料を活用して、エネルギーの観点から食生活に関する課題を吹き出しに書き込もう」 ④持続可能な食生活に向けて、エネルギー資源を有効に活用する工夫について、なぜこの工夫をしないとよいのか、理由を含めて考える。 「持続可能な食生活に向けて、エネルギー資源を有効に活用するにはどうすればよいだろうか」 (考えるヒントとして)「食品ロスやフードマイレージなどの課題とエネルギー資源を有効活用することはどのように関連しているだろうか」 ・旬の食品や地産地消の食品を購入し、生産や運搬にかかるエネルギーを減らす。 ・食品ロスを減らすことは、食材の生産や流通、調理、廃棄にかかるエネルギー資源を有効に活用することにつながる。食品ロスを減らすために、必要な分だけ購入し、購入した食材は使いきる。 ・容器の製造や廃棄にもエネルギー資源が使われている。過剰包装は断り、容器包装でリサイクルできるものは資源として活用する。 | ②ワークシートを配布し、記入させる。小集団になり、意見をさせる。 ③小集団で資料を読み解きながら、ワークシートに記入させる。 ・右ページの資料を提示し、根拠をもとに課題を発表させる。 ④小集団で工夫を考え、全体で発表する。なぜその工夫をしないとよいのか、根拠をもとに課題の解決策を考えさせる。 [SDG7: エネルギー] [SDG12: つくる責任 つかう責任] |
| まとめ | ⑤自分の生活を振り返り、エネルギー資源を有効に活用するために実践できる工夫を考え、ペアで共有する。 「自分の生活を振り返ろう。毎日の暮らしの中でエネルギーを有効活用するために、自分が実践したいことをペアに伝えよう。それぞれの考えに対して、アドバイスをしあおう」 | ⑤ペアで話し合わせることで、本時の学習内容の振り返りと、実践に対する意欲を高める。 |

- ◆関連する内容
 - ・家庭分野「C 消費生活・環境」
- ◆参考情報＆データ入手先
 - ・「わたしたちの暮らしとエネルギー」

(出所)
資料A: 1990年 社団法人資源協会「家庭生活のライフサイクルエネルギー」※投入エネルギー量はエネルギー原単位(kcal/円)から試算されたもの。その他は園芸設備費、種苗費、肥料費、農業費、所在良否、水料費、賃料、建物・土地設備費、農機具費等の間接エネルギー投入量。
資料B: 日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」、総務省「住民基本台帳」を基に作成
資料C: 全国地球温暖化防止活動推進センター「家庭からの二酸化炭素排出量(2019年度)」を基に作成
資料D: 環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査の概要(令和2年度)」(容積比率)を基に作成
資料E: 農林水産省「平成26年度食品ロス統計調査報告(世帯調査)」より作成
※食品ロス量: 家庭における食事において、使用・提供された食品の食べ残し及び廃棄されたもの(食べ残し、直接廃棄、過剰除去)
資料F: 消費者庁作成

学習課題 持続可能な食生活について考えよう

1. 食生活のどの場面にどのようなエネルギーが使われているか、□に書き込もう。



2. 資料を活用して、エネルギーの観点から日常の食生活に関する課題を、上記イラストの吹き出しに書き込もう。
3. 持続可能な食生活に向けて、エネルギー資源を有効に活用するにはどうすればよいだろうか。なぜそうするとよいか理由を含めて考え、理由に下線を引こう。
(例) ○○を有効活用するために○○する。/○○をして、○○を減らす。

